

哲風会通信

2016.5.Vol53

秋田にもようやく桜が開花しましたが、急に寒くなったり暖かかったり気温の変化が激しい日が多いですね。四月からの新年度が始まり一カ月が過ぎ、ようやく新生活に慣れてきた方も多いかと思えます。緊張の連続で疲れが溜まっている頃ですのでGWでリフレッシュをして五月病にならないように気をつけましょう。



歯並びが悪いと・・・

歯並びが悪いと一口にいいますが、不正咬合にはいろいろな種類があります。

上下の顎の関係の異常

- ・上顎前突：主に出っ歯と言われる状態
- ・下顎前突：主に反対咬合、受け口と言われる状態
- ・開咬：咬み合わせた状態で上下の前歯が咬み合っていない状態
- ・叢生：歯がでこぼこに並んでいる状態
- ・空隙歯列：隙っ歯の状態

個々の歯の位置異常として歯が捻じれていたり、傾いていたり八重歯のようにずれた位置に生えていたり様々です。



不正咬合の原因は先天的な問題と後天的な問題があります。

先天的な問題

- ・遺伝：子供の顔が両親や祖父母に似るように顎や歯の大きさも似ることがある
- ・歯の数、大きさ、形態：先天的に歯の数が足りないと空隙歯列や歯の傾きがおきやすい

後天的な問題

・ 歯の萌出異常：虫歯などで乳歯が早く抜けてしまうと永久歯の萌出に影響がでやすい

・ 虫歯や歯周病：歯を失うと隣の歯が傾いたり、噛み合う歯が伸びてくる

・ 口腔習癖：指しゃぶり、舌を突き出す癖、唇を咬む癖

後天的な問題は癖や日々の生活習慣を見直すことで予防が可能です。

歯並びが悪いことで起こる障害

・ 虫歯発生、歯周病の誘引：歯並びが悪いと歯磨きが上手に出来ず虫歯や歯周病になりやすい

・ 咀嚼機能障害：上手く物を咬めないために咀嚼の効率が悪く消化能力が低下

・ 発音障害：サ行（摩擦・歯音）、タ行（破裂歯茎音）などに異常が生じやすい

・ 審美的障害、心理的障害：何らかの不満やコンプレックスを抱いていると人前で笑うことに抵抗をもつことがある



歯並びを改善するための矯正治療は見た目を改善するためだけのものだと思われていますが歯並びが悪いと虫歯や歯周病の誘引にも関わります。矯正治療は治療期間が長く費用も高額です。治療方法や使用する装置にはいろいろな種類がありますので歯科医ときちんと相談することをおすすめします。

今月の通信担当

むさしデンタルオフィスの石川です。GW を目前にして九州地方で大きな地震が続いています。東日本大震災の時に支援してもらったからと東北からも支援の輪が広がっているようですが一日も早く復旧が進むことを心から願っています。秋田県は比較的いろいろな天災が少ないような気がしますが、もう一度防災への意識を高めたいですね。



医療法人 哲風会
むさしデンタルオフィス

〒010 - 0912
秋田市保戸野通町4 - 8
TEL:018-853-8214
フリーアクセス:0800-800-8461

医療法人 哲風会
ちづ歯科クリニック

〒018 - 1605
南秋田郡八郎潟町川崎字昼寝
233 - 1
TEL:018-875-2801